

平成 29 年第 2 回（6 月）瀬戸内市議会定例会一般質問通告一覧表

発言順序	議席番号 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1	4 番 日下俊子	1. 選挙における投票率の向上について	(1) 今回の瀬戸内市議会議員選挙の投票率は 54.88% で、前回の 62.99% に比べ、8.11 ポイントも下がり過去最低となつたが、その原因をどう分析しているのか (2) 18 歳、19 歳の投票率はどうだったのか (3) 今後投票率を上げるための対策をどう考えているのか	市長 副市長 担当部長 選挙管理委員会 事務局長
		2. 公共交通の整備について	(1) 市営バスの 11 月運行開始が計画されているが、その詳細は (2) 6 月 29 日と 30 日に市営バスの説明会を行うと聞くが、どのような人を対象者とするのか (3) 市営バスは、乗りやすいものにし、一人でも多くの人に乗ってもらうことが大切だが、その対策は	市長 副市長 担当部長
2	10 番 島津幸枝	1. 安心して子どもを産み育てられる瀬戸内市について	(1) 子どもの貧困をどのように把握し、どう解決を図っていくのか (2) 子育て世帯の経済的負担の軽減策を具体化すべきでは	市長
		2. 地場産業の育成について	(1) 住宅リフォーム助成制度の内容を拡充しては (2) 公平公正な市の発注・契約をどのように実現していくのか (3) 行政報告の「新たな工業団地の造成や中小の企業への支援制度の拡充」について、具体的な内容は	市長 副市長 担当部長
		3. JR 駅前等整備について	(1) 駅舎のバリアフリー化の計画は (2) JR 西日本への要望事項は	市長 副市長

発言順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を求める者
3	1番 岡國太郎	1. 市長選挙及び市議会議員選挙結果について	(1) 市長選挙が無投票となったのは、市政への関心が低いことが原因と思うが、市政への関心を高める対応は (2) 市議会議員選挙の投票率は史上最低との結果をどのようにとらえているか	市長選挙管理委員会事務局長
		2. 世界遺産登録について	(1) 朝鮮通信使の記憶遺産登録申請の進捗状況と、今後の見通しは (2) 長島愛生園・邑久光明園が高松市の大島青松園とともに世界遺産登録を目指して活動を展開されているが、市としての支援の現状と今後の方策は (3)瀬戸内市関連の世界遺産への登録が認められた場合、記念イベント等は検討されているのか	市長副市長教育長担当部長
		3. 安全・安心のまちづくりについて	(1) 市内各小学校の通学路の危険箇所の点検状況は (2) 危険と目される箇所の防犯灯、防犯カメラ等の犯罪予防策は検討されているのか	市長副市長教育長担当部長
		4. 学校と地域の連携・協働について	(1) 市内唯一の県立高校である邑久高校を市は地域資源としてどのように位置付けているのか (2) 県の高等学校教育研究協議会で挙げられている「地域と連携した学校づくり」を踏まえ、邑久高校と市との連携・協働を進めることは考えられているのか	市長副市長教育長担当部長

発言順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を求める者
4	3番 高間直美	1. 放課後児童クラブの制度改正について	(1) アンケートの結果と今後の方向性は (2) 設置条例をつくってはどうか (3) 統一的に事務を所管する事務局をつくってはどうか (4) 放課後の子どもたちの第3の居場所づくりにしてはどうか	市長 担当部長
		2. 生涯現役社会づくりについて	(1) 本市の高齢者的人数と現状は (2) シニア世代の生きがいづくりのためにコーディネーターを配置してはどうか	市長 担当部長
		3. 地域における見守りについて	(1) 地域の情報をどのような形で集め、共有しているのか (2) トータルサポートセンターの役割と現状は (3) 電話相談や通報先が一目でわかるシートを作成してはどうか	市長 担当部長
5	16番 廣田 均	1. 各種災害の防止対策について	(1) 土石流防止対策はどうなっているのか (2) 急傾斜地の崩壊防止対策はどうなっているのか (3) ため池の決壊防止対策はどうなっているのか (4) 低地帯への浸水防止対策はどうなっているのか (5) 海岸漂着物の撤去はどうなっているのか	市長 副市長 担当部長
		2. インフラの整備について	(1) 県道、市道などの整備要望について、現状と今後の対応は。また、草刈り、枝打ちなどの年間の取組状況は	市長 副市長 担当部長
		3. 鹿忍地区の低地帯対策について	(1) 塩田跡地のその後の現状と対策は	市長 副市長 担当部長

発言順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を求める者
6	12番 小野田光	1. 今後の市政運営について	<p>(1) 行政報告において、所信を述べているが、その内容について問う</p> <p>① 人材育成について「今後、継続的な人材育成のための具体的な仕組みを検討している」とのことだが、その具体策は</p> <p>② 地域経済とコミュニティの活性化について「瀬戸内市に合った地域への一括交付金と地域自治組織のあり方を確立し、地域の主体的な取り組みが進められることによって、それぞれの地域固有の課題の解決と市民参加のまちづくりが進められるようしていく」とのことだが、その具体策は</p> <p>③ シビックプライドの醸成について「瀬戸内市に対する愛着と誇りを高めていく取り組みを続けていく」とのことだが、その具体策は</p> <p>④ 健全な財政の維持について「瀬戸内市の永続的な発展を目指していく」とのことだが、その具体策は</p>	市長
7	6番 厚東晃央	1. 国民健康保険について	<p>(1) 広域化の進捗状況は</p> <p>(2) 国民健康保険税の引き下げを実施すべきでは</p>	市長 担当部長
		2. 新火葬場の整備について	<p>(1) 岡山市との協議の進捗状況は</p> <p>(2) 新火葬場の整備に向けた事業の進捗状況は</p>	市長 担当部長
		3. 放課後児童クラブ(学童保育)について	<p>(1) 安定して持続できる放課後児童クラブ(学童保育)にするための支援策はどのようにするのか</p> <p>① 保護者運営の課題に対する改善策は</p> <p>② 保育料の軽減や無料化など、保護者の負担の軽減策は</p> <p>③ 放課後児童クラブの支援員等を確保するための市の支援は</p>	市長 担当部長

発言順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を求める者
8	8番 竹原 幹	1. 集会所整備補助事業について	(1) 補助率、限度額等補助内容の拡充はできないか (2) 経過措置の撤廃をしては	市長 副市長 担当部長
		2. 合併浄化槽補助事業について	(1) 自治会集会所にも適用できないのか (2) 改修は対象とならないのか	市長 副市長 担当部長
		3. ごみ集積所設置に関する補助事業について	(1) 用地費も対象とする等の制度の拡充はできないか	市長 副市長 担当部長
		4. 広報掲示板について	(1) 設置、改修に係る補助制度を設けては	市長 副市長 担当部長
		5. 地域自治組織と地域一括交付金制度について	(1) 地域の課題をどのように整理し、地域一括交付金制度の中に組み込んでいくのか	市長 副市長 担当部長
9	17番 日下敏久	1. 安全・安心なまちづくりについて	(1) 海岸線や水没の危険性がある地域におけるポンプ等の設置状況と沿岸部排水調査の調査状況は (2) 通学路の点検整備の状況は	市長 副市長 教育長 担当部長
		2. 企業誘致について	(1) 早急に市内の農業地域から農村地域工業等導入促進法による工業等導入地域の指定をしては (2) 尻海地区に夢実現の企業誘致の状況は	市長 副市長 担当部長
		3. スポーツ公園等の整備について	(1) 子ども広場の安全の確保とトイレの整備状況は	市長 教育長 担当部長

発言順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を求める者
10	7番 河本裕志	1. 安全・安心な瀬戸内市について	(1) 公共施設の耐震化、再編計画及び活用をどう考えているのか ① 耐震対策がなされていない施設はどうするのか ② 未利用施設を今後どうするのか ③ 公共施設の有効利用はどう考えているのか ④ 危機管理に関する自治基本条例の更新をどうするのか	市長 副市長 教育長 担当部長
		2. 人がいきいき・人にやさしい瀬戸内市について	(1) 高齢者や障がい者が住みやすく、また、子育てがしやすいまちづくりをどのように考えているのか ① 公共施設のトイレの洋式化をどのように進めるのか ② ヘルプマークの導入を考えないのか ③ コンビニ交付の推進をどのようにしていくのか ④ 自動車運転免許の返納者に対する補助は考えないのか ⑤ 子育て広場（公園など）の今後の考えは	市長 教育長 担当部長
11	15番 小谷和志	1. 安全・安心で住みよいまちづくりについて	(1) 大雨、高潮時に浸水する地域への対策について問う ① 干田川の改修の進捗状況は ② 大向川、小向川の今後の改修計画は ③ その他の要望箇所についての対応は (2) 生活道路の整備についての要望状況と今後の対応は	市長 副市長 担当部長
		2. 有害鳥獣被害防止について	(1) 被害状況及び要望状況は。また、今後の対応は	市長 副市長 担当部長
		3. 公共交通について	(1) 進捗状況と今後の方針は	市長 副市長 担当部長

発言順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を求める者
12	5番 布野浩子	1. しあわせ実感都市瀬戸内市の実現について	(1) 自治会または自治会の連合体において市民活動応援補助金をどのように活用しているか (2) 市民活動応援補助金は飲食に使用できないが、これに対する市民ニーズは高い。制度を再検討してはどうか (3) 地域一括交付金制度導入に係る今後の予定は (4) 集落支援員を配置した成果は (5) 集落支援員を各地域に配置するべきではないか	市長 副市長 担当部長
		2. 子ども支援について	(1) 子育て広場応援隊を育成するとともに、活動の場である公園の整備も必要と考えるが、今後の予定は (2) 要望の強いトイレと水場は早く整備しては	
		3. 農業政策について	(1) 多面的機能支払交付金は、地域の共同活動を支援するものと考えるが、現状と制度の普及に向けた今後の展開は	
13	2番 角口隼一	1. 瀬戸内の永続的な発展のために市長が考えるまちづくりについて	(1) 人材の育成が一過性のものではなく、市として継続的に共助や公助を考えられるリーダーの育成は必須である。限られた予算の中でどのように人材育成を図っていくのか (2) 地域経済の活性化に向けた、市長が取り組みたいこととは。また、コミュニティの活性化のため地域自治組織に担っていただく地域固有の課題の範囲とは、どの程度までと考えているか (3) シビックプライドの醸成が一過性のものとならないよう、市民とともにまちをつくっていく必要があるが、瀬戸内市ならではの取り組みや、子どもたちが愛着と誇りを持てるような取り組みをどう考えているのか (4) 健全な財政の維持と公共施設の再編をどのように両立しながら行っていくのか。また、その具体策とは	市長

発言順序	議席番号 氏名	質問事項	質問の要旨	答弁を求める者
13	2番 角口隼一	2. 今後の学校教育（道徳・外国語・情報化）の充実について	(1) 道徳教育の柱をどのようにとらえているのか (2) 外国語教育の充実は何を目標としてとらえているのか (3) 教育の情報化の推進により、子どもたちにどのような資質や能力を身につけていかせる考えなのか	教育長
14	14番 馬場政教	1. ジャンボタニシへの対応は	(1) ジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）の被害状況をどの程度把握しているか。また、防止策、駆除に対する支援をどのように考えているのか	市長 副市長 担当部長
		2. 防災、減災へより一層の取り組みを	(1)瀬戸内市耐震改修促進計画に基づき、減災をどのように推進するのか ①耐震化できていない建物への対応をどのように考えるのか ②市指定の緊急輸送道路沿線の耐震化は進んでいるのか ③耐震化が難しい建物への対応はどうするのか ④耐震性が確保された建築物に、その旨を表示する制度を導入しては	市長 副市長 担当部長
		3. ヘルプマークの導入を	(1)援助や配慮を必要としている方が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることが可能なヘルプマークを導入してはどうか	市長 副市長 担当部長
15	18番 室崎陸海	1. 観光資源の開発と歴史文化の保存による牛窓地域の活性化について	(1)空き家を子どもの体験学習などに活用しては (2)街角ミュゼをもっと活用しては (3)船大工の資料館を整備しては (4)東寺、五香宮等の歴史遺産を整備しては (5)その他、活性化への取り組みは	市長 副市長 教育長 担当部長